

韓国環境部プレスリリース 2020 年 2 月 9 日付

京畿道と江原道の野生いのししから ASF ウイルス検出 (野生いのしし 171-173 例目)

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1309580&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は京畿道（キョンギド）漣川郡（ヨンチョンゴン）および江原道（カンウォンド）華川郡（ファチョンゴン）、鉄原郡（チョルウォンゴン）で発見された野生いのしし死体 3 個体から ASF ウイルスが検出されたと 2 月 9 日明らかにした。

○ 2 月 7 日漣川郡（ヨンチョンゴン）中面（チュンミョン）、鉄原郡（チョルウォンゴン）近南面（クンナムミョン）および華川郡（ファチョンゴン）上西面（サンソミョン）で発見された野生いのししの死体はそれぞれ環境部捜索チーム、鉄原郡職員および住民によって発見された。

○漣川郡、鉄原郡、華川郡は野生いのしし ASF 標準行動指針により試料を採取して現場消毒と共に死体を処理した。

□国立環境科学院は 2 月 9 日死体で ASF ウイルスを確診と結果を関係機関に通知した。これで漣川郡（ヨンチョンゴン）は 50 件、鉄原郡（チョルウォンゴン）は 20 件、華川郡（ファチョンゴン）では 53 件の野生いのしし ASF 確定診断となり、全国的には 173 件になった。

□国立環境科学院生物安全研究チーム長は“今回発見された死体は広域フェンスの中で発見されたし、この地域で他にも死体があるのか軍部隊と協力して捜索を徹底する”と話した。

以上